



北山中学校卒業式

平成25年3月8日、中学校の卒業式が行われ、4人の3年生が学び舎を巣立ちました。

卒業した4人は、それぞれ高校に進学するそうで、今は期待と不安を胸に新しい学校生活を夢めていることかと思えます。

今年度の中学校では、新3年生が6人、そして小学校を卒業したばかりの新1年生が4人入学し、あわせて10人の生徒が学ぶ予定です。

一方、小学校は、新6年生が1人、新5年生が2人、新4年生が4人、新3年生が1人、新2年生が4人のあわせて12人となります。

残念ながら今年度は、小学校へ入学する新1年生がいません。

村には、現在22人の小中学生がいるわけですが、正直、その人数に寂しさを感じるところがありますし、実際の教育場面においてもデメリットを感じる場所があるでしょう。

しかし、デメリットがあるからこそ、逆にたくましく育ち、そして巣立つていくこともできると思います。

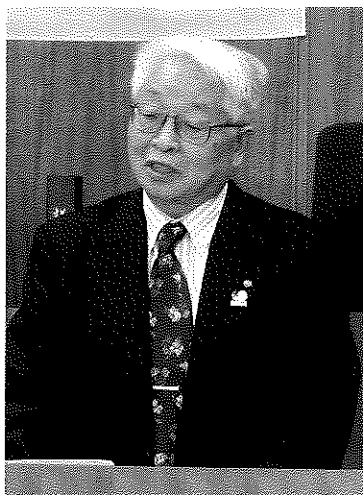
この4人の卒業生の皆さんも高校という少し大きな世界でさらに活躍されることを願うものです。

平成25年度の

施政方針

北山村長 奥田 貢

(村議会3月定例会要旨)



1 医療福祉について

これまで行ってきた各施策を維持しつつ、中長期的展望にたつた医療福祉施策の在り方等について検討を進め、更なる向上に努めてまいりたいと考えています。

診療所につきましては、20年間にわたる村の医療を支えていただきました松本先生が3月末をもって退任されます。誠に残念なことでありましたが、松本先生のご尽力にあらためて心より感謝とお礼を申し上げます。

後任の医師としては、宮本先生が赴任されます。宮本先生は、和歌山県立医科大学の高度救命救急センターで勤務されておりますので、先生の経験を活かした診療を期待するところであります。宮本先生には、一日も早く北山村に溶け込んでいただき、村民が安心して安全に暮らすことができるよう特段のご尽力をお願い申し上げます。



2 消防・救急体制・防災

について

これから起こるであろう南海トラフに起因する大地震の発生や異常気象等に起因する集中豪雨等に対する迅速な対応が求められているところであります。

平成22年度から取り組んでいる防災道路の整備については、各区とも協議を進め積極的に取り組んでまいります。

24年度に調査を行いました避難場所の安全確認につきましては、必要となる対策等について県当局とも協議を行い、事業実施に取り組んでまいります。

防災訓練について、自主防災活動の強化を主眼とした村民全体が参加する訓練を行い、地域全体としての防災意識の向上を図ってまいりたいと考えております。

3 過疎対策・定住促進

について

高齢化率46.8%の超高齢化・少子化を迎えた北山村にとりましては、今後の存続に関わる大きな問題であり、過疎対策と若者定住は、表裏一体の関係で総合的な対策を講じる必要があります。

また、北山村にとりましては、いわゆる「買い物難民」という問題も発生してきております。村内に唯一あつたガソリンスタンドが数年前に廃業され、またプ

ロパンガス供給事業につきましても民間事業者の撤退が予定されておりあります。

このような状況に対応するため、平成25年度において、これらの実施にむけて詳細な検討を進めてまいりたいと考えております。

4 学校教育・社会教育 について

地域の将来を担う子どもたちは、地域の宝であります。この子どもたちの教育をいかに充実させ、将来に向けて大きく成長させるためにどうあるべきかを基本理念として、種々の施策を実施してまいりましたが、引き続き更なる向上を目指して取り組んでまいります。

また、平成27年に開催される「わかやま国体」に向けて、実行委員会を組織してカヌー競技の実務的な準備、活動に取り組んでまいります。

5 地場産業・地域振興等 地域活性化について

地場産業をはじめとして地域の活性化については、産官学等地域が一体となって取り組んでいくことが重要であります。このような観点から非営利組織（NPO）ともできるところは連携をして取り組んでまいります。

① おくところ温泉について

おくところ温泉は、平成24年4月からそれまでの公社運営から公社を廃止して、村直営として営業を開始しました。

いろいろと細かな点がありますが、簡単に申し上げますと、平成24年度の収支見込みは、収入7,500万円に対して、支出8,100万円と600万円程度の赤字が見込まれる状況であります。

今後の課題としては、運営体制と集客に向けて更に種々の創意工夫に取り組んでいくことが必要です。



おくところ温泉施設は、北山村にとっては欠かすことのできない必要な施設であります。現場のスタッフとしても集客に関する取組を行っているところではあります。今後も更なる努力をしてまいりますので皆様のご支援をお願い申し上げます。

② じゃばら事業について

平成23年度の大きな落ち込みから回復が期待されていたところではありますが、結果として24年度の果実収穫量は、約74トンとなり、昨年に比較して約11トンの増加にとどまりました。この結果から、じゃばら果汁については、すでに昨年末から通信販売の方を停止している状況であります。

このようなことから24年度のじゃばら事業はかなりの減収になるものと考えており、見込みとして当初予算からは3,000万円近くの減となるのではないかと思います。

この原因については、詳細な状況分析が必要ですが、25年度においては、「収穫量の増加を図るための育成管理の強化」、「新たな販売ルート確保と販売促進への取り組み」それに「他からの販売状況の把握と確認」の3点を重要課題として取り組んでまいります。

じゃばら発祥の地として、北山ブランド確立のために生産者はじめ住民の方々の協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

③ 観光筏事業について

観光の基幹であります「北山川観光筏下り」であります。平成24年は、5月3日の開航式がダム放水の関係で5月19日に延期され始めました。

その影響も含め、最終的には、運航日数69日、乗船客数5,589人と例年に比べ少ないものとなり、観光筏収入についても当初予算からは減収ということになりました。

今年度につきましても、例年どおりの運航であります。今後の大きな課題は、なんといたても筏師後継者を確保することです。現在、13名の筏師体制ですが、観光筏を事業として定着させるためには、1日あたり8乗りの運航が理想であり、まだまだ筏師の確保が必要であると考えています。これまでの経験から、その募集の仕方については、抜本的に検討する必要があります。とあると考えているところであります。

また、9月における平日の観光筏運航については、電源開発との協議を促進させ、小森ダムの放流パターンを変更していただくべく取り組んでまいります。

6 社会基盤の整備

住民生活を支える社会基盤の整備促進は、地域活性化をはじめとして、住民の安全・安心を支える基本的な施策であります。

① 道路整備について

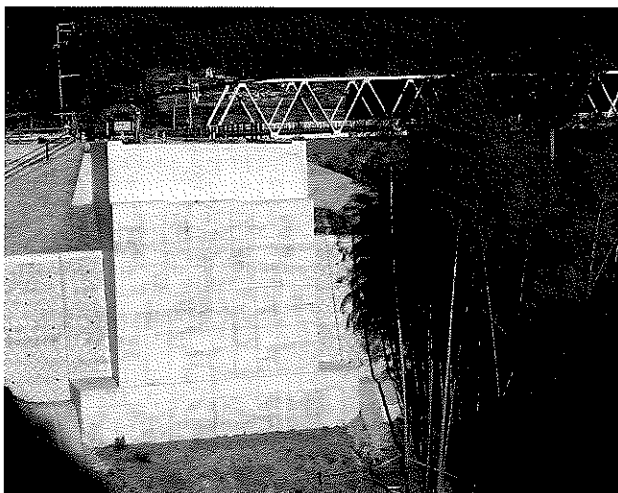
国道169号奥瀬道路Ⅱ期区間(5.2キロ)につきましては、平成27年のわかやま国体に合わせて供用開始ができるよう国・県に強く要望してまいります。



これに引き続き、Ⅲ期区間として、下尾井から小松の区間の新規事業区間の採択にむけて取り組んでまいりたいと考えております。

また、村内における国道169号の状況ですが、現在、県におきまして竹原地区の工事等の事業が進められております。

引き続き、今後も必要な整備を時系列的に計画、取りまとめ、地域の要望として県当局等に働きかけてまいります。



防災対策道路としての村道整備であります。下尾井地区の道路整備につきましては、平成24年度で概ね完成いた

しました。

今後は、必要となる防災道路を各区と協議を行い、総合的な防災対策道路等の整備計画を策定し、その策定された整備計画に基づき計画的に整備を進めてまいりたいと考えております。

② 簡易水道について

全体の改修計画については、平成23年度から27年度までの5か年間で完了する予定としておりますが、25年度は、下尾井大谷から大沼橋付近までの約2.6キロを予定しており、計画どおり進捗すべく取り組んでまいります。

③ 地籍調査について

地籍調査につきましては、平成10年度から事業に着手以来、調査計画に基づき計画的に調査を進めてまいりました。平地部については完了し、現在は、山地部に着手しており、今後、村内の未実施箇所につきましては、順次計画に従って調査を進めてまいります。

④ 情報通信について

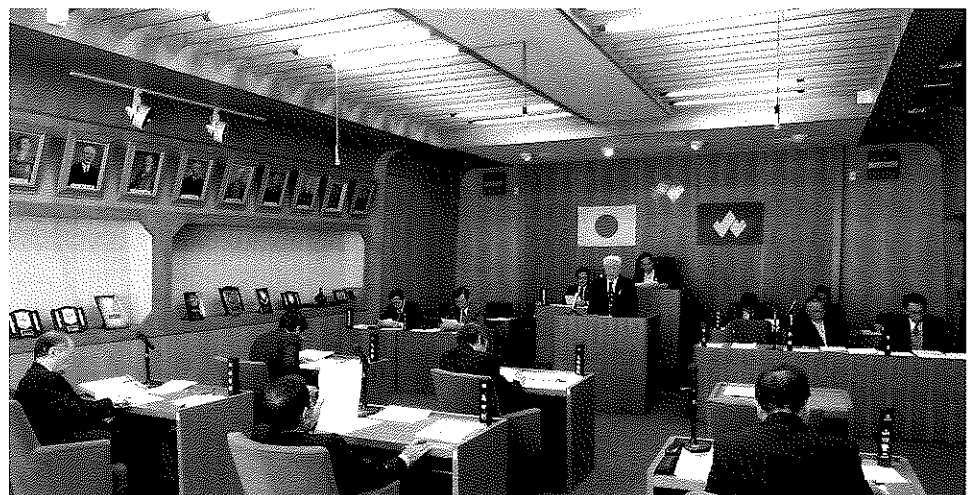
ICTの時代を迎え情報通信の技術を活用していくことは、これからの地域戦略として大きなツールの一つであります。

6 環境負荷の軽減について

今後は、産官学やNPO等とも連携をし、役割分担をして情報事業を推進してまいりたいと考えております。平成25年度は、村全体としての情報通信施設の在り方等について、観光・産業・行政など全体的な議論を行い、これからの北山村としてのICT活用の方角性を定めて行くことが重要であると考えております。

地球環境への負荷の軽減は、全世界を通じての大きな課題であります。

これまでも村では、中学校へのソーラーパネルの設置、おくろ温泉へのバイオマスボイラー設置を行ってまいりました。平成25年度は、国の補助制度を活用して役場庁舎へのソーラーパネル設置を行うこととしております。



以上、平成25年度に取り組むべき課題及び北山村として地域活性化と地域づくりの基本となる事項を含めて施政方針の説明とさせていただきます。議会をはじめ村民の皆様のご理解とご協力、ご支援を心からお願い申し上げます。

平成25年度 一般会計当初予算

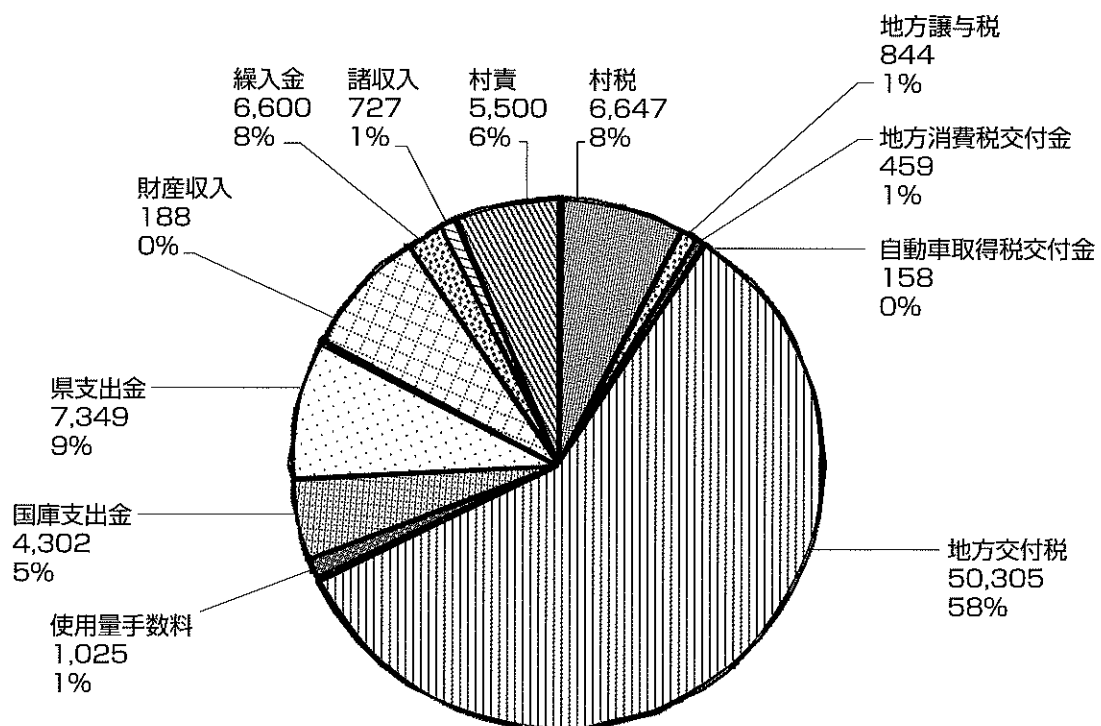
8億6,263万円

平成25年度北山村の当初予算は、8億6,263万円となり前年度と比較して3,077万円(3.4%)の減額予算となりました。

歳入

村 税	6,647万円	使用料及び手数料	1,025万円
地方譲与税	844万円	国庫支出金	4,302万円
利子割交付金	21万円	県支出金	7,349万円
配当割交付金	12万円	財産収入	188万円
株式譲渡所得割交付金	3万円	寄付金	15万円
地方消費税交付金	459万円	繰入金	6,600万円
自動車取得税交付金	198万円	繰越金	2,000万円
地方交付税	5億305万円	諸収入	727万円
分担金及び負担金	68万円	村 債	5,500万円

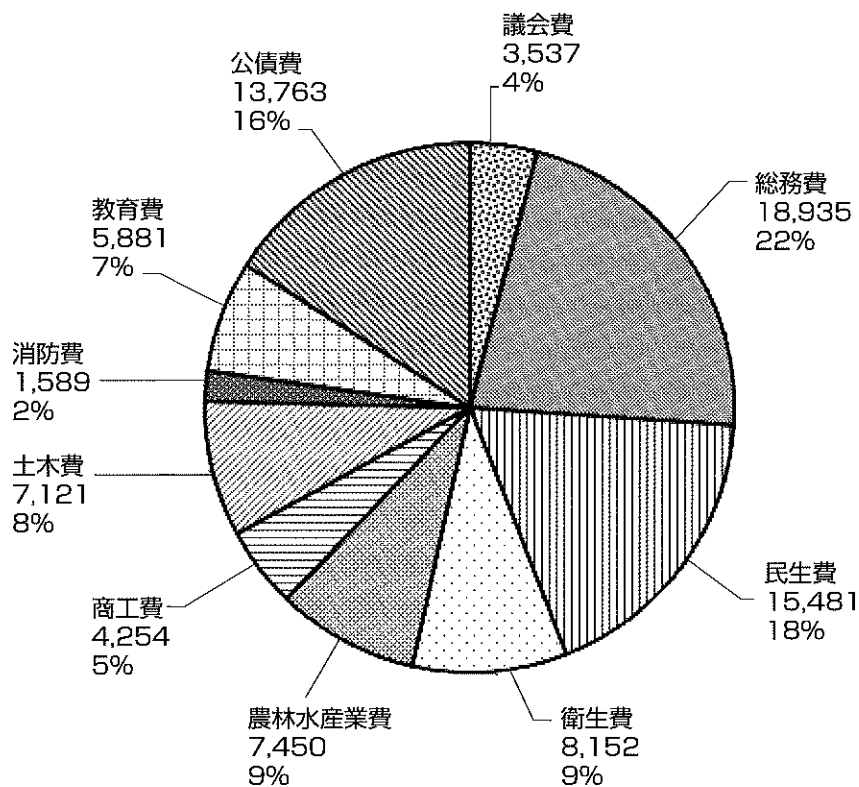
歳入 構 成 比



歳入(科目別)

議会費	3,537万円	土木費	7,121万円
総務費	1億8,935万円	消防費	1,589万円
民生費	1億5,481万円	教育費	5,881万円
衛生費	8,152万円	公債費	1億3,763万円
農林水産業費	7,450万円	予備費	100万円
商工費	4,254万円		

歳入構成比



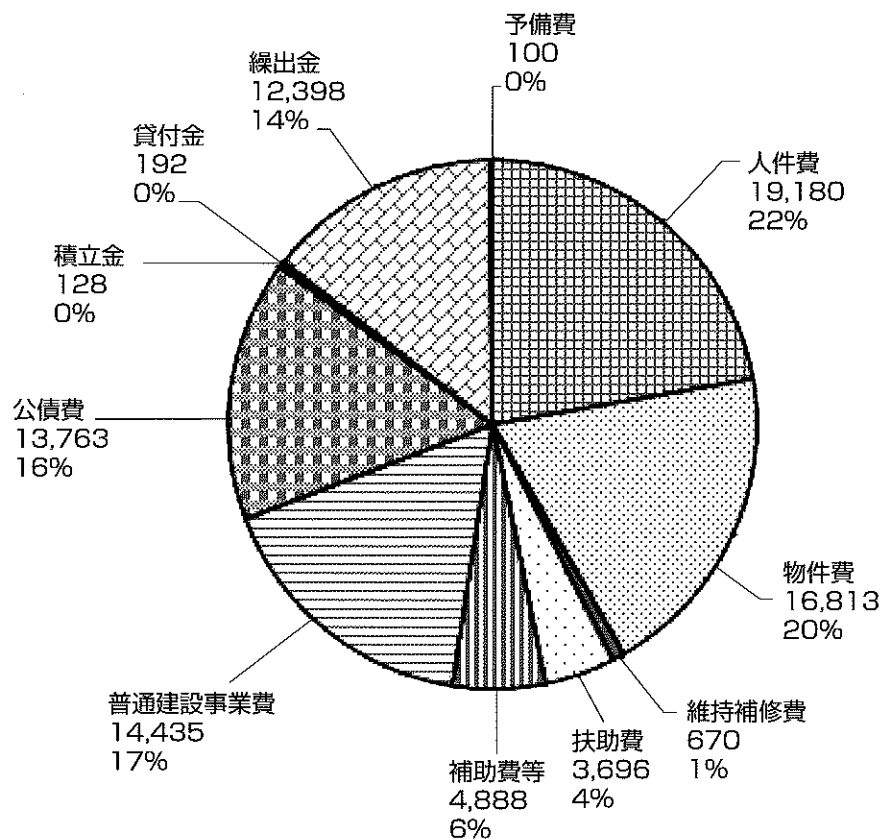
平成25年度の主な建設事業等(一般会計)

総務費	太陽光発電設備事業	2,811万円
農林水産業費	林道平田線開設工事	4,100万円
土木費	下尾井地内排水路整備工事	150万円
	村道上滝下滝線側溝整備工事	400万円
	村道四の川線改良工事	2,900万円
	村道竹原寺の下線道路改良工事	600万円
	公営住宅塗装工事	650万円
消防費	防災用品備蓄倉庫設置	110万円

歳入(科目別)

人件費	1億9,180万円	公債費	1億3,763万円
物件費	1億6,813万円	積立金	128万円
維持補修費	670万円	貸付金	192万円
扶助費	3,696万円	繰出金	1億2,398万円
補助費等	4,888万円	予備費	100万円
普通建設事業費	1億4,435万円		

歳入構成比

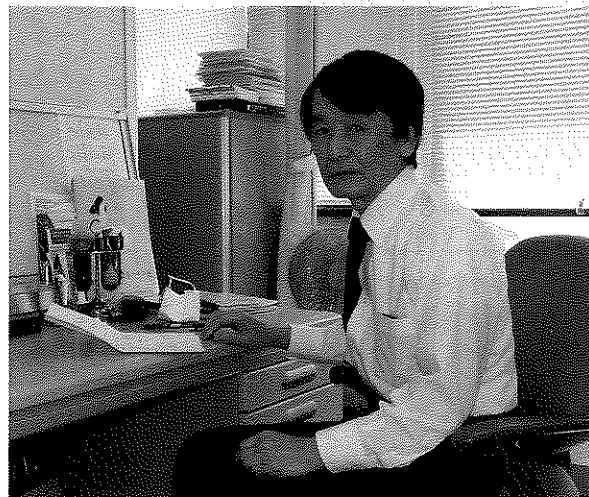


平成25年度各特別会計の当初予算

国民健康保険特別会計	1億279万円
介護保険特別会計	6,994万円
後期高齢者医療特別会計	2,414万円
簡易水道特別会計	1億1,049万円
国民健康保険直営診療所特別会計	8,351万円
地域振興事業特別会計	2億3,489万円
温泉施設事業特別会計	9,903万円

20年を振り返って

医師 松本博臣



何の予備知識もなく、役場の都合も聞かず、突然訪れたのは平成4年10月、車で約6時間の長旅でした。

途中で何度も帰ろうかなと思いつながら、でも北山行きを勧めてくれた県議の先生に申し訳ないしと思い直し、育生のガソリンスタンドで北山への道順を聞きやつとたどり着きました。当時の住民課長寺前さんが応対してくれ、大沼から下尾井まで車で案内してくれました。想像していたよりきれいなところに一目惚れしてしまいました。

地域住民の方々に接するうちに僻地医療に取り組むことの大切さを痛感し、北山でも医師複数性を目標にしましたが、志し半ばで重みに耐えかねりタイアすることになりました。住民の方々には誠に申し訳ない気持ちでいっぱいです。皆さんと別れることをとても寂しく思っています。

しかし、私の後任の先生は、救急救命の専門の先生だと聞いております。北山村の皆さんにとって適任の先生だと思い、少し安心しております。

北山村が末永く健康長寿の村としてご発展し続けますように心よりお祈り申し上げます。

平成5年4月から20年間お世話になり本当に有難うございました。

「御礼の言葉」 村長 奥田 貢

松本先生が平成25年3月をもって北山村診療所長を退任されることとなりました。私達にとりましては、誠に残念なことでありますが、この事実を厳粛に受け止めてまいりたいと思います。

松本先生には、平成5年春に北山村診療所長として着任以来、20年間という永きにわたり、北山村村民の安全・安心を守るため医療活動に誠心誠意のご尽力をいただきました。これまでのご活動とご努力に、村民一同心から感謝とお礼を申し上げる所でありたいです。本当に有り難うございました。

松本先生は、医療ということだけでなく、住民の方々の健康増進にも積極的に努められ、また、住民の皆さんの生きがいという観点からは、作品展の開催など色々な取り組みと活動をしていただきました。

松本先生に寄せる村民の皆さんの信頼は絶大なものでありました。改めて、その存在の大きさを身にしみて感じているところがあります。

松本先生は、今後、和歌山に戻られても色々な社会活動に積極的に取り組んでいかれると思いますが、折々に北山村にもお出で頂き旧交を温めて頂ければ幸いです。村民一同心からお待ちをしております。

今後とも、松本先生の益々のご活躍とご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

成人式

平成25年1月3日、成人式が村民会館で行われました。今年新成人になった6名のうち、葛城麻紀さん(下尾井)、中瀬古茉耶さん(七色)、福岡晃利さん(七色)の3名が出席しました。

式典では、村長の祝いの言葉の後、成人を代表して葛城麻紀さんが「本日を契機として、心をひきしめ、新しい人生の第一歩に向けて力強く歩き出します。」と謝辞を述べました。



葛城 麻紀さん 中瀬古 茉耶さん 福岡 晃利さん

消防出初式

平成25年1月4日、おくところ公園グラウンドで平成25年消防出初式が行われました。

中瀬古新消防団長にとっては、初めての出初式でしたが、若干のぎこちなさもあつたものの力強く指揮をとっていました。

式では、浦畑修さん(第1分団)と疋田茂雄さん(第2分団)が永年勤続表彰を受けられました。

また、前消防団長の屋敷善一さん、前副団長の藪本守男さんなど消防団を退団された方に奥田村長から感謝状が贈られました。



国 年 通 信

国民年金学生納付 特例制度

20歳以上の方は、学生であっても国民年金に加入しなければなりません。

しかし、学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

対象となる方は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）に在学する学生等で、ご本人の前年所得が次の計算式で計算した金額以下であることが条件です。

【所得めやす】

118万円

+

（扶養親族の数 × 38万円）

学生納付特例の承認期間は、4月から翌年3月までの1年間で、在学証明書または学生証の写しを添付して年金事務所あるいは役場にお申請してください。

また、現在、納付特例を受けている方で平成25年度も引き続き在学予定の方へは、ハガキ形式の学生納付特例申請書が4月初旬に送付されています。

平成25年度も同じ学校等に在学される方は、このハガキに必要事項を記入して返送することにより、納付特例の申請ができます。この場合は、在学証明書等の添付は不要です。

なお、平成24年度においてすでに猶予されている方でも、平成25年度においては納付特例制度を利用せず、保険料の納付を希望される場合は、お手数ですが年金事務所にご連絡してください。

詳しくは国民年金保険料専用ダイヤル
（0570-011-050）
または田辺年金事務所
（0739-24-0432）
へお問い合わせください。

たばこは村内で買いましょう

たばこ税は、私たちが購入するたばこの代金の中に含まれています。

同じ銘柄のたばこなら、全国どこで買っても同じ価格ですが、代金に含まれる税金のうち、「市町村たばこ税」と「都道府県たばこ税」は、小売店のある市町村や県の収入になります。

村内でたばこを買っていただくことにより、北山村の税収が少しでも豊かになります。

軽自動車は和歌山ナンバーで

軽自動車税は、市町村税で軽自動車等の所有者に対して課税されるものですが、購入形態等によっては、県外のナンバーであることがあります。

少しお手間ではありますが、軽自動車等を購入する場合は、北山村の税収が少しでも豊かになるようにできるだけ「和歌山」ナンバーでの登録をお願いします。

公証役場をご存知ですか？

公証役場とは、公証人が執務するところです。

では、公証人とはどのような人かといいますと、原則30年以上の実務経験を有する法律実務家の中から、法務大臣が任命する公務員です。

公証人の仕事の主なものは、遺言や契約などの公正証書の作成です。

次のような問題についてお気軽にご相談ください。

○遺言 ○相続 ○離婚 ○任意後見 ○金銭貸借
○土地建物の賃貸 ○大切な契約、会社の設立など

相談は、平日（日曜日は月1回）の午前9時から

相談は、すべて無料（秘密厳守）です。

日曜・無料 遺言公証法律相談のお知らせ

- ◆ と き 平成25年4月21日（第3日曜日）
 午前9時～午後5時
 平成25年5月19日（第3日曜日）
 午前9時～午後5時
- ◆ ところ 新宮公証役場
- ◆ 相談員 公証人 中村 司（和歌山地方法務局所属）
- ◆ 予 約 電話で予約してください
- ◆ その他 相談料はすべて無料です。
 秘密厳守

【お問い合わせ連絡先】

新宮公証役場（公証人 中村 司）

新宮市緑ヶ丘2-1-31 カマツカビル3階
電話0735-21-2344 FAX0735-21-2378

村長の

つぶやき

第3回

百寿者に学ぶ「健康で長寿へのいざない」

先ほど、慶応大学病院の老年内科診療部長の広瀬信義さんが「百寿者に学ぶ」と題して調査結果を報告されています。

それによりますと百寿者（100歳以上の人）の方は、全国で5万人以上いるそうで、その特徴はと言いますと、規則正しい生活をしている人が多く、食事は好き嫌いなく何でも食べる、高齢者は、粗食の印象がありますが、肉や魚などをしっかりと食べている人が多いそうです。

また性格的には朗らかさを忘れず、つらいことがあってもその中に楽しみや喜びを見いだし、感謝の言葉をよく口にするなどが特徴で、家族との良い関係を築いている人も多く、介護側の負担感が低いのも特徴だそうです。

ひとくちで言えば、男性は「マイペースで多趣味な面白いお父さん」、女性は「しっかり者の頼れるお母さん」というイメージだそうです。

ちなみに、血液型ではB型の頻度が高いそうです。

遺伝が寿命に及ぼす影響は25%程度で、やはり生活習慣や環境などの影響が大きいとのことでした。

「今さら何をすると言っても遅きに失する。」「いや、遅きに失しても何もしないよりかましか。」などと考えさせられました。

皆さんはどうでしょうか？

新しい村営バスが走っています！

平成25年2月21日から新しい村営バスが走っています。

当初の計画では、昨年秋頃の予定でしたが、少し遅くなりました。

約10年ぶりの新車です。

乗り心地はいかがでしょう？



これまでにない電動補助ステップが付いて、乗り降りが大変しやすくなりました。

フォトギャラリー

PHOTOGALLERY



村の人口

(平成25年3月1日現在)

人口 481人(-5)

男 227人(-2)

女 254人(-3)

世帯数 273戸(-2)

※()内は前号比

◇発行

北山村総務課

〒647-1603

和歌山県東牟婁郡北山村大字大沼 42

電話 0735-49-2331

Fax 0735-49-2207

◇北山村ホームページ

<http://www.vill.kitayama.wakayama.jp/>